



一人一人の学力向上に向けた指導の工夫・改善を図っていきます。さらには、これまで実施してきたアントレプレナーシップ教育や職場体験ボランティア活動といった多様な経験を通し、児童生徒の主体的な課題解決能力の向上を目指していきます。

併せて、県のモデル事業として取り組んでいる「地域学校協働活動事業」「放課後子どもプラン推進事業」「学校支援地域本部事業」により、さらに地域・学校・家庭が一体となって子どもを育てる体制づくりを強化し、郷土愛を育む教育を進めていきます。

このほか、西会津小学校のプールについては、保護者を対象としたアンケートの結果を尊重しながら、平成30年度中に整備する予定です。

また、県立西会津高校は1学年1学級規模の本校として維持されることになりました。

**スポーツの推進**

誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整え、心身の健康づくりに努めていきます。特に、ふくし

**芸術文化の活動**

先人から受け継いできた地域の宝である貴重な文化財や伝統文化、民俗芸能などを次の世代へ確かに引き継ぐため、平成29年度に策定した「西会津町歴史文化基本構想」の具現化を図り、文化財の保存、伝承、活用に努め、地域づくりにつなげていきます。

**子育ての充実**

子育て世代の経済的な負担を軽減し、より子どもを産み育てやすい環境を整えるため、平成30年度より保育施設利用時の保育料を全て無料にします。

昨年4月に開園した「西会津町こゆりこども園」は、認定こども園としての機能に加え、子育て支援センターや放課後児童クラブを併設した、子育て支援の拠点施設です。この役割をしっかりと果たしていくため、子育て世代の皆さんがさらに気軽に利用で

**教育の充実**

ICTを活用した産官学民との連携や地域の多様な人材が積極的に教育をサポートできる教育環境づくりを進めていきます。

また、学力向上に向け、「IRTテスト」の導入などにより児童生徒の経年的な学力の変化を把握・分析し、子ども

一人一人の学力向上に向けた指導の工夫・改善を図っていきます。さらには、これまで実施してきたアントレプレナーシップ教育や職場体験ボランティア活動といった多様な経験を通し、児童生徒の主体的な課題解決能力の向上を目指していきます。

併せて、県のモデル事業として取り組んでいる「地域学校協働活動事業」「放課後子どもプラン推進事業」「学校支援地域本部事業」により、さらに地域・学校・家庭が一体となって子どもを育てる体制づくりを強化し、郷土愛を育む教育を進めていきます。

**生涯学習の推進**

町民の皆さんが生涯を通じて学べる環境づくりを進めるため、町民の学ぶ意欲が高まる講座や教室、地域に向かい行う出前講座などを引き続き開催していきます。

**芸術文化の活動**

先人から受け継いできた地域の宝である貴重な文化財や伝統文化、民俗芸能などを次の世代へ確かに引き継ぐため、平成29年度に策定した「西会津町歴史文化基本構想」の具現化を図り、文化財の保存、伝承、活用に努め、地域づくりにつなげていきます。

# こころ豊かな人を育むまちづくり



平成30年度の町政執行にあたっては、現行の「西会津町総合計画・後期計画」に基づき、計画の柱である「こころ豊かな人を育むまちづくり」「豊かで魅力あるまちづくり」「人と自然にやさしいまちづくり」をもとに、各種施策を総合的に実施していきます。また、本年度は、現行の「西会津町総合計画・後期計画」の最終年度となることから、計画の実施に合わせてこれまでの取り組みの評価・検証を行い、平成31年度を初年度とする新しい「西会津町総合計画」の策定に取り組んでいきます。

さらに、「西会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「雇用の創出」「町への新しい人の流れづくり」「若い世代の結婚・出産・子育てへの支援」「安心な暮らしを守り、地域づくりを推進」の4つを基本目標として、本年度も引き続き具体的な事業を実施し、人口減少対策や町の活性化を積極的に推進していきます。



# 豊かで魅力あるまちづくり

## 農林業の振興

国の米政策改革に伴う生産数量目標の配分や米の直接支払交付金が廃止されるなど、平成30年度は農業を取り巻く状況が大きく変わり、今後の農業経営の見直しを迫られる重要な年度です。これまで以上に農家目線に立ち、地域の実情に沿った農林業の振興施策を実施し、町の主要作物である米・ミネラル野菜・キノコを3本の柱とした「農林業の振興による豊かな町の実現」を目指していきます。

## 林業専用道の整備

新たな取り組みとして、「林業専用道」の整備に取り組みます。これまで町が整備してきた林道は、大型トラックや普通乗用車の走行を想定し、生活道路としても利用されています。しかし、開設コストが高いことが難点でした。一方、森林施業

の作業道は、主に林内作業用キャタピラー車の走行を想定しているため、搬出運搬等の効率が良くありません。

今回の林業専用道は、林道と作業道をつなぐ役割を果たす道で、大型トラックが通行可能な構造とするものの、舗装せず、現場の地形に合わせて工法を使いコストダウンを図ります。この林業専用道を杉山地区に平成30年度から3カ年で整備し、効率的に森林施業が行えるようにします。

## 米の販売促進

西会津産米の品質向上を図るため、西会津一うまい米コンテストの開催や、入賞米の全国コンクール出品などを引き続き実施します。さらに、町単独事業により米の食味計を新たに導入し、本町独自の付加価値付けを行うとともに、生産者や生産者団体と一体となった販路開拓やPR活動を行い、西会

津産米のブランド化と販売促進を図っていきます。

## 鳥獣被害対策

平成30年度も狩猟免許所持者2名によるパトロールを継続し、有害鳥獣出没时间に迅速な対応を行うよう備えます。また、新たな取り組みとして、集落ぐるみで行う電気柵共同設置など、有害鳥獣が出没しにくい環境づくりのモデル対策を実施してまいります。

## 菌床キノコの振興

念願だった菌床培養施設が計画通りに完成したこと、平成30年度は次のステップとして通年の生産出荷と作業の効率化を進めていきます。また、新規就農者の研修に役立てるため、菌床培養施設の周辺に冷暖房付きパイプハウスを5棟整備する「生産施設の団地化事業」に新たに取り組みます。生産者と一体となり、一層の菌床キノコの大規模産地化を

## 風評払拭に向けて

町内産の農林産物は、福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害の影響が今も続いています。本年度も農林産物のモニタリング検査や米の全量全袋検査など継続して行い、安全・安心な

農林産物の出荷・販売に取り組んでいきます。また、これまで町とJA会津よつばが共同で行ってきた首都圏での町内産農林産物のトップセールスを継続して行うほか、本年度も会津17市町村長合同のトップセールスが計画されており、積極的に風評払拭に向け取り組んでいきます。

## 観光の振興

費用の一部を支援します。昨年開催を見合わせた「西会津なつかしCarショー」は、3月2日に実行委員会の設立総会を開催し、新たな体制で本年5月27日に復活開催することになりました。本町最大規模の交流イベントの成功に努めていきます。

## 商工業の振興

個人事業主を含めた企業などに経営基盤強化のための資金を貸し付ける「中小企業振興資金貸付事業」をはじめ、町内企業などが実施する研修や商談会等への費用助成を引き続き行います。併せて「無料職業紹介事業」を継続し、雇用の創出と確保を図ります。

## LED灯の交換支援

これまでLED化への支援を行ってきた野沢まちなかの街路灯に、経年による球切れなどの故障が増えてきました。自治区の負担軽減と安全・安心な環境の維持を目的に、本年度から新たにLED灯の交換に要する

## 地域資源の活用

地域資源を活用し、自ら地域活性化に取り組む団体などを支援する「活力ある地域づくり支援事業」や、そうした活動のリーダー的役割を担う若者を育

## 定住と交流

若者の移住・定住を促進するため、住宅取得にかかる費用の一部を助成する「定住促進助成事業補助金」を継続するほか、任期を終了した地域おこし協力隊員や若者などが空き家を活用して起業する場合の支援制度も継続します。併せて、いわゆる「婚活イベント」である後継者対策事業の成婚率向上にも取り組んでいきます。

## ふるさと納税

応援寄付金制度、いわゆるふるさと納税は、平成30年度から返礼品を全面的にリニューアルします。また、インターネットのポータルサイトへの掲載を実施し、町の魅力を広く周知してまいります。さらにクレジットカード決済を可能にするなど、寄付者の利便性の向上を図りながら、寄付金の増収につなげてまいります。

# 人と自然にやさしくまちづくり

## 健康づくり

課題となつて  
いる若年層の  
健康意識の高  
揚や、町内企業への健康づく  
り支援を進めます。また、年  
間を通して健康づくりに取り  
組んでもらうため、「健康ポ  
イント事業」を継続し、町民  
自らが自分の健康を意識でき  
るような仕組みづくりを進め  
ていきます。

健康づくりの基本となる  
「食」の大切さの普及、そし  
て「運動」の習慣化に向け、  
食生活改善推進員、健康運動  
推進員の活動を強化すると  
ともに、「健（検）診」の受診  
率の向上、精密検査（2次検  
診）の受診率向上に努め、病  
気の早期発見・早期治療につ  
なげていきます。

## 医療の充実

歯科を除く町  
内唯一の医療  
機関である町  
国保診療所は、町民への医療  
の提供のほか、町内の施設入

関係機関に要望していきま  
す。特に、町縦貫道路の区間  
は、早期完成に向けた整備促  
進を積極的に要望します。な  
お、県代行事業で整備した橋  
屋橋は、4月下旬に開通式を  
開催する予定です。

## 町民バス

平成24年4月  
から「デマン  
ドバス」方式  
を導入し、運行体系全般につ  
いて評価・検証を毎年実施し  
ながら見直しを図ってきました。  
しかし、定時定路線バス  
の運行について町民の皆さん  
から強い要望があり、現在、  
定時定路線バスとデマンドバ  
スの併行運行について関係機  
関等と協議を進めています。

下谷・群岡・新郷・奥川の4  
方面への定時定路線バスの運  
行について、路線認可の手續  
き、必要な運転手の確保、運  
行時間・停留所の調整、委託  
料など、関係機関などの意見  
をもらいながら平成30年度中  
の導入を目指していきます。

## 克雪

町雪対策基本  
計画に基づい  
た取り組みを

所者への診療や、学校医・産  
業医など、町内の医療サービ  
スのほぼ全般を担っています。  
このため、医師の確保に  
向けた取り組みを強力かつ早  
期に進め、医療体制の整備と  
安定した地域医療サービスの  
充実に努めていきます。

## 高齢者福祉

平成29年度に  
策定した「西  
会津町第7期  
介護保険事業計画・第8期高  
齢者福祉計画」に基づき、元  
気な高齢者から要介護高齢者  
まで全ての高齢者の皆さんが  
切れ目のない連続した介護予  
防に取り組める体制を整備し  
ていきます。

また、医療や介護サービス  
が必要となった場合には、医  
療と介護の連携によるスムー  
ズな連絡調整を行い、生活を  
支える体制づくりを進めてい  
きます。

さらに、近年は認知症に関  
連する相談が増えていること

進め、町民生活に支障を来さ  
ないよう引き続き道路除雪に  
努めるとともに、除排雪に必  
要な設備や施設について整備  
を進めていきます。

## 上下水道

上下水道は、安  
全で安定した  
飲料水供給の  
ため、老朽化した管や設備の  
更新を進めます。また、下水  
道は、個別排水整備事業によ  
りその普及を進め、また、施  
設の長寿命化と効率的な運営  
に向け、計画および設計を進  
めていきます。

## 公営住宅

現在、公営住  
宅の長寿命化  
に向け、西原  
住宅の屋根修繕を進めていま  
す。本年度は平成31年度から  
の新たな計画を策定し、さら  
に入居者の安全で安心な暮ら  
しの確保を図っていきます。

## 防災

平成29年度か  
ら4カ年計画  
で防災行政無  
線のデジタル化を進めていま  
す。本年度も継続して整備を  
進め、安全・安心なまちづく  
りを図っていきます。

から、本人やその家族へのき  
め細やかな支援体制を構築し  
ます。高齢になつても、住み  
なれた地域でその人らしく生  
活できるように、サロンや地域  
ネットワークづくりを支援す  
るとともに、見守り協定を締  
結した郵便局や宅配業者など  
と連携し、地域での見守り体  
制を強化していきます。

## 障がい者福祉

「西会津町授  
産場」や「相  
談支援事業所  
にしあいづ」にこにこ相談  
所」などを活用しながら、誰  
もが安心して生活できるまち  
づくりを目指していきます。

## 交通安全

近年、全国的  
な問題となっ  
ている高齢者

の自動車運転事故対策とし  
て、平成30年度からは運転免  
許証を自主返納した人に対す  
る支援事業を実施します。

## 道路整備

安全・安心の  
確保と持続性  
のある地域づ  
くりのため、既存の道路施設  
の整備を重点的に進めます。

改良事業は、地域からの要望  
などに基づく路線の整備を継  
続し、修繕事業は老朽化して  
いる橋やスノーシェッドなど  
を、点検結果や交通の状況等  
に基づいた優先度により年次  
的に修繕を進めていきます。  
道路舗装は、路面性状調査の  
分析結果に基づき、計画的に  
修繕を進めていきます。ま  
た、農道、林道のうち、生活  
道路として利用しているもの  
は、その目的に合った維持管  
理に努めます。

国・県道は、町を横断、縦  
断する重要幹線であるため、  
その整備や適正な維持管理を

# Policy speech 所信

本町の最大の課題である  
「人口減少」に歯止めを掛け、  
活気ある「ふるさと・西会津」を取り戻すため、  
引き続き汗をかきながら  
全力で町政運営に取り組んでいく

昨年8月に町長に就任してから約7カ月が経過し、この間、無我夢中で走り  
回ってきました。

私利私欲を捨て、公平・公正な町政運営を実践するため、町民の皆さんの声  
に真摯に耳を傾けながら、国や県、あるいは町を応援して下さる町外の皆さん  
とのパイプ・ネットワークづくりにも力を注いできました。

この7カ月間は、いわば私の公約実現に向けた基盤づくりと人脈づくりの期  
間であり、平成30年度が本当の意味でのスタートであると考えています。

「次世代を担う人材の育成と確保」「若者の夢を実現できる仕組み  
づくり」「安心して暮らせる老後」「農林業と商工観光の振興」  
「ICTのまちづくり」の5つの基本政策のもと、これまでに  
成果を上げている施策等については継続し、見直すべき施策  
等については改善・改革をしながら、本町の最大の課題で  
ある「人口減少」に歯止めを掛け、活気ある「ふるさと・  
西会津町」を取り戻すため、引き続き汗をかきながら、  
全力で町政運営に取り組んでいきます。

